

令和9・10年度市町村立美術館等活性化事業 第26回共同巡回展

「淡く透き通る風景・水彩画の魅力

一東御市丸山晚霞記念館、東御市梅野記念絵画館所蔵品を中心に一」展（仮称）

〈企画について〉

明治期に海外からもたらされた西洋技法の中で、水彩画は独自の発展をとげ、明治後期には全盛時代を迎えました。当時の日本の風景や風俗を描いた作品は海外でも大変な人気を呼び、多くの作家が高い評価を受けていました。丸山晚霞記念館は、日本の水彩画の歴史に大きな足跡を残した丸山晚霞を中心に、吉田博、三宅克己など、全盛期を支えた明治期の作品から昭和初期にかけての水彩画を所蔵しています。加えて、東御市梅野記念絵画館では、同時期の関西の作家たちの作品をコレクションしています。これらの水彩画は、私たち日本人の原風景ともいえるもので、年齢や性別を問わず多くのひとたちの心に響く魅力に満ちています。現在、この水彩技法は身近なアニメーションの背景美術にも引き継がれており、日本の風土を愛し、そこに宿る時間を描こうとする、変わらぬ感性が水彩画とも共通しています。

本展は東御市丸山晚霞記念館・梅野記念絵画館の所蔵している明治期の水彩画を中心に、明治期から昭和初期までの水彩画の流れをたどっていく内容を目指します。展開の可能性のひとつとして、開催館の所蔵する水彩画や地域にゆかりの作家作品などを、各会場で追加展示することも考えられます。また、特に地域交流プログラムでは、水彩技法を受け継ぐアニメーション背景画にも着目し、『千と千尋の神隠し』、『ハウルの動く城』、『もののけ姫』、『サマーウォーズ』など多くの名作で美術監督を務めた武重洋二氏による講演やワークショップ、作品にちなんだ地域の演奏家によるコンサートなども交え、多角的なアプローチで水彩画の魅力を再発見できるものにしていきたいと考えています。

（東御市丸山晚霞記念館 館長 佐藤聡史）



丸山晚霞 《高原の秋草》



吉田博 《橋と竹林》

〈開催時期〉 令和10年度(令和9年度は準備年に当たります)

〈事業主体〉 第26回共同巡回展実行委員会(参加決定後、令和9年度に全参加館により組織します)

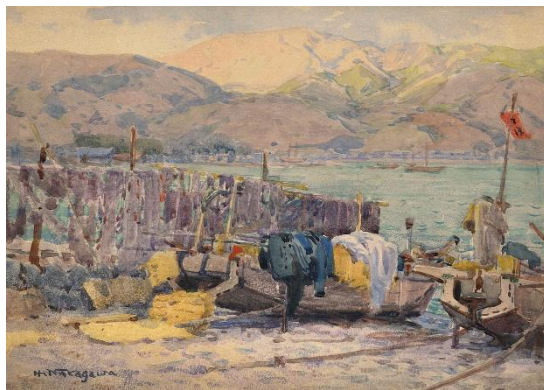
〈助成〉 一般財団法人 地域創造(準備年、開催年の2か年にわたり助成します)

〈出品作品〉 東御市丸山晚霞記念館・梅野記念絵画館所蔵作品

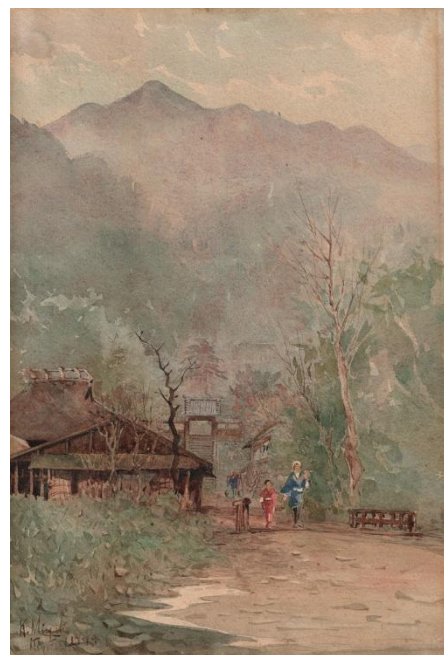
- ・「水彩の明星」と呼ばれた吉田博、丸山晚霞、三宅克己ら明治期の水彩画
- ・関西美術院系画家やその関連作家の水彩画



丸山晚霞 《祢津風景》



中川八郎 《漁港風景》



三宅克己 《京都風景》



小沢一郎 《風景》



武重洋二氏ワークショップの様子



牧野克次 《夕陽》



風景画とのコラボコンサート

展示可能な出品作家（出身地・画塾・所属団体など）（予定）

丸山晚霞（長野県・彰技堂・太平洋画会、日本水彩画会） 吉田博（福岡県・不同舎・太平洋画会）
 三宅克己（徳島県・鐘美館・白馬会、日本水彩画会、光風会） 中川八郎（愛媛県・不同舎・太平洋画会）
 大下藤次郎（東京都・鐘美館・太平洋画会） 石井柏亭（東京都・東京美校・日本水彩画会、二科会）
 真野紀太郎（愛知県・鐘美館・日本水彩画会） 赤城泰舒（静岡県・大下藤次郎に師事・日本水彩画会）
 ワーグマン Jr.・小沢一郎（神奈川県・父C.ワーグマンに師事し団体に属さず）
 牧野克次（大阪府・不同舎・関西美術院） 間部時雄（熊本県・京都高等工芸学校・関西美術院）
 アルフレッド・パーソンズ（英国） ウォルター・ティンデル（英国）

美術監督・武重洋二氏による背景美術作品

※主に日本風景であるが、丸山晚霞、吉田博、三宅克己には海外風景もあり

※ 以上のイメージは著作権処理がなされていないので、行政目的のための内部資料としてのみご使用ください。